

社会科部門

総評

2008年はオリンピックが開催され、入賞には至らなかったもののオリンピックに関連する作品の応募が数多くありました。
自由研究は興味を持つところから始まります。しかし、新聞記事をスクラップしたり、本やインターネットで調べたりするだけで終わってしまつと研究としては不十分です。
自分なりの仮説を立て、調べた結果という一つの発見があったかということまでまとめることが大切です。

文部科学大臣奨励賞

イメージいろいろ わたしのまち大宮

東京都 白百合学園小学校 3年 齋藤 景

自分の住んでいる身近な地域を研究した作品です。まず、地区を代表するものについて知人にアンケートを行い、その回答をもとに調査を進めています。現場に出向き、さまざまな人にインタビューを行う行動力や、自分で盆栽を作つたり、鉄道員お仕事ツアーに参加したり、体験的な調査をしているところが評価されました。また、歴史にまで踏み込んで研究している点も内容に厚みを出しています。5歳の頃の写真を入れるなど、構成もすばらしいです。

数多くの写真を使つて丁寧にもとめられており、3年生として極めて完成度の高い作品です。

写真やイラストを使って
分かりやすく整理されています。



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

我孫子のくらし今昔物語

千葉県 我孫子市立我孫子第二小学校 4年 高橋 みずき

自分の住む我孫子市の人々のくらしや仕事について、今と昔を調べることをテーマに選んだみずきさん。関係する文献を調べるだけでなく、昔からある職業に注目し、お店の人にインタビュー取材を行っています。話を聞いて素直にそのすごさに驚き、昔からある考え方やくらしの良い点に目覚めています。

市の歴史を体系的にまとめ上げており、調査能力の高さを感じさせる作品です。インタビューのまとめ方も見事です。

「手書き編」と、同じ作品を
ワープロで打ちなおした
「ワープロ編」があります。



日本社会科教育学会 会長賞

高速道路と昔の道を学んで

群馬県 ぐんま国際アカデミー初等部 4年 高柳 博樹

家の近所に高速道路ができるというところから興味をもち、高速道路の便利さ、高速道路ができるまでについて調べています。

さらに高速道路から昔の道に研究を広げ、江戸時代の宿場や関所についても調べています。

両者の間には明治以降の道路の歴史もあるのですが、そこにつなげられら社会科の研究としてはもっとすごいものになったでしょう。

海外にも発信できる力作です。



NEXCOのハイウェイ
見学会のような。

海外在住者賞

ヒロシマで学んだこと

ソウル日本人学校 小学6年 若林 麻優

若林 麻優

中央出版株式会社 社長賞

美羽の1日1エコ日記

東京都 白百合学園小学校 3年 樋口 美羽

アル・ゴア氏著「不都合な真実」に影響を受けた美羽さんは、地球温暖化について調査を始めました。温暖化の原因やさまざまな影響、防止への取り組みなどを詳しく調べてまとめています。

そして夏休みを利用して「エコ」について1日1つ、調査や実践活動を行っています。40日間、毎日続けた継続力も素晴らしいです。



86ページの大作です!

優秀賞

おやつがあぶない?

岐阜県 美濃加茂市立山手小学校 3年 渡辺 世奈

私たちが暮らして豚肉

群馬県 玉村町立玉村小学校 6年 針谷 月乃

群馬県 玉村町立玉村小学校 6年 針谷 月乃

針谷 月乃